

**製品名: CHD1L ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08743**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	101kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CHD1L
別名	CHD1L; ALC1; Chromodomain-helicase-DNA-binding protein 1-like; Amplified in liver cancer protein 1
遺伝子 ID	9557.0
SwissProt ID	Q86WJ1
免疫原	抗血清はヒト CHD1L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 545-594

**背景**

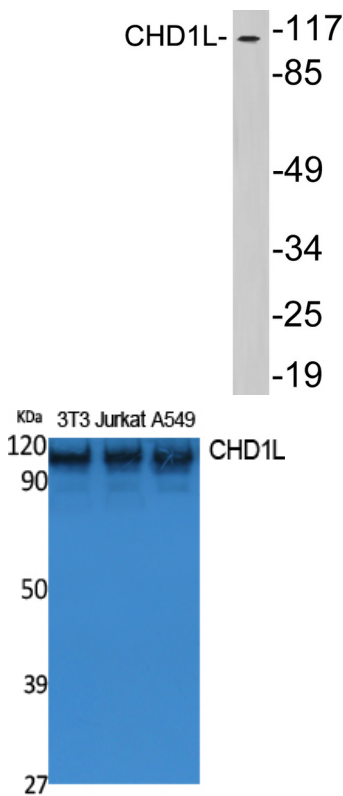
クロモドメインヘリカーゼ DNA 結合タンパク質 1 類似体(CHD1L) Homo sapiens この遺伝子は、DNA 修復に関する DNA ヘリ

カーゼタンパク質をコードしています。このタンパク質は ATP をポリ(ADP-リボース)に変換し、DNA 損傷後のクロマチン弛緩を制御します。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた複数の転写産物バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]、機能: クロマチンリモデリングに関与する可能性のある推定 DNA ヘリカーゼ。試験管内において、細胞増殖を促進し、アポトーシスを阻害します。類似性:SNF2/RAD54 ヘリカーゼ ファミリーに属します。類似性:1 つのヘリカーゼ ATP 結合ドメインを含みます。類似性:1 つのヘリカーゼ C 末端ドメインを含みます。類似性:1 つのマクロドメインを含みます。組織特異性:肝細胞癌で過剰発現することが多いです。、

## 研究分野

-

## 画像データ



CHD1L 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。

CHD1L ポリクローナル抗体を使用した、NIH-3T3、Jurkat、A549 細胞抽出物のウエスタン ブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。